

法政大学女子高等学校

日時：2012年1月18日

場所：横浜市鶴見区岸谷1-13-1

測定器：ALOKA TCS-171（137Cs線源を用いた機器校正を実施済み，2011年8月26日）

測定条件：時定数 30秒、90秒後～120秒後までの数値の読み取り値

測定者：法政大学イオンビーム工学研究所

測定時間	場所	高さ (cm)	放射線量 ($\mu\text{Sv/h}$)	備考
15:30～	正門	100	0.08～0.09	
	グラウンド	100	0.06～0.07	土
		5	0.07～0.08	
	プールの側	100	～0.05	
	側溝泥土堆積物の塚	5	0.95～0.97	土
		5	～0.3	塚の外周
	体育館	100	0.04～0.05	
	職員室	100	0.07～0.08	
	教室	100	0.07～0.08	221教室

備考)

今回の測定では、側溝から除去した泥土の堆積物の塚付近（普段人が活動する場所ではありません）において放射線量が高い箇所がありましたので、横浜市に相談の上で、それらの堆積物を除去し、専用の倉庫に隔離・保管しました。また、除去後に塚付近や側溝付近について放射線量を測定し、通常の活動に支障がない状態が確保されていることを確認しました。

